

# シンポジウム

# 「東アジア共同体への道」(日韓同時通訳付)

## 【共催団体】(アイウエオ順)

京都・奈良EU協会

政治社会学会(ASPOS) & 関西政治社会学会  
同志社大学人文科学研究第8研究

東京外国語大学国際関係研究所

龍谷大学アフラシア多文化社会研究センター

## 【シンポジウムの趣旨】

中国、台湾、韓国、ロシア極東地域では、21世紀の初頭から目覚しく経済成長を遂げている。それまで東アジアの唯一の経済大国・日本は、今後、発展する汎東(北東・東南)アジア着国と更に親密な関係を作り出していかなければならない。その一つの方向として東アジア共同体構想が持ち上がっている。しかし、現在、尖閣諸島(魚釣島)や竹島(独島)の領有権問題が、日韓中の大きな外交上の障害となっている。この壁は、単に日韓中の三国のこれまでの経済文化交流を阻害するという否定的なものでない。今回の事態は、日中間の軍事的衝突の可能性が生じる深刻なものである。このことによって、東アジア共同体の可能性は後退したと受け止められているが、政府間レベルや外交上での問題があったとしても、これまで日韓中の中で進んだ企業、市民や研究者間の親密な交流の歴史を断つことは出来ない。むしろ、この状況こそ、我々、市民、研究者や企業人の交流をさらに積極的に押し進める必要がある。

今回、Hyun-Chin Lim先生(ソウル国立大学アジアセンター所長)と、Hongik Chung先生(ソウル国立大学行政大学院名誉教授)をお招きして、シンポジウム「東アジア共同体への道」を企画した。日韓同時通訳を導入し、幅広く、関西地域、京都の大学の学生や市民の参加を呼びかけ、活発な討論会に行きたい。

平成24年

11月26日(月) 14:30~17:30 (受付14:00)

会場：京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール

費用：無料 どなたでも参加できます

## シンポジウム・プログラム

【総合司会】 大賀 哲 (九州大学大学院法学研究院・准教授 / 政治社会学会・国際交流委員長)

【開会の辞】 三石博行 (千里金蘭大学共通教育機構・教授 / 京都・奈良 EU 協会・副理事長)

【基調講演】 佐藤洋治 (ワンアジア財団理事長)

【シンポジウム】 司会： 荒木義修 (武蔵野大学政治経済学部・教授 / 政治社会学会・理事長)

報告1： 「なぜ東アジア共同体を構築するのか—ナショナル・アイデンティティーを超えて—」  
Hyun-Chin Lim (ソウル国立大学アジアセンター所長 / ソウル国立大学社会科学部・学部長 / 韓国政治社会学会・会長)

報告2： 「Hallyu—韓流とアジア—」  
Hongik Chung (ソウル国立大学行政大学院・名誉教授)

討論者： 清水耕介 (龍谷大学アフラシア多文化社会研究センター長)  
大西 広 (慶応義塾大学経済学部・教授 / 京都大学・名誉教授)  
渡辺啓貴 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院・教授)

※シンポジウム終了後、懇親会を下記のごとく開催いたしますので、奮ってご参加ください。

時間： 18時30分~20時30分

会場： 京都大学正門横「カンフォーラ」

参加費： 2000円

申込先 Email: labo.mitsuishi@gmail.com

【問い合わせ先】 千里金蘭大学共通教育機構 3829研究室

〒565-0873 吹田市藤白台5-25-1

TEL:06-6872-7467 FAX:06-6872-7784 Email:labo.mitsuishi@gmail.com